

キタゴヨウ

この地域に生い茂るのは落葉樹ですが、中山半島や御倉半島など十和田湖周辺の岩場には、ゴヨウマツの変種にあたるキタゴヨウが自生しています。マツの種類は、葉束ごとの針葉の数で判別できる場合があります。キタゴヨウの葉束には針葉が何本あるでしょうか？ヒント：キタゴヨウは五葉松とも呼ばれています。

こちらの2本のキタゴヨウは、1921年（大正10年）に日本の皇族、雍仁親王（秩父宮）とその弟君、宣仁親王（高松宮）が十和田湖をご訪問されたことを記念して植えられた記念樹です。